

# 令和6年度 事業結果報告

人手不足や警備料金の適正確保等の課題に加え、急ピッチで進められているデジタル化など警備業界を取り巻く情勢が大きく変わりつつある中、会員のご理解とご協力を得て、下記の活動を重点に取り組んだ。

## 1 警備業務適正化のための「自主行動計画」の実践・定着による経営基盤の強化

### (1) 「倫理要綱」等に沿った適正な業務運営による法令遵守とコンプライアンス対策

ア 抜本的に改訂された「警備業における適正取引推進等に向けた自主行動計画」の普及・実践の強化

イ 経営者等研修会において、警察本部の講師による立入検査状況等の講話

ウ 全警協の講師を招聘して経営者等研修会を開催し、警備業をめぐる諸課題について講演

エ 全警協及び政府関係省庁等から発出される各種情報等の積極的提供及び協会発行機関誌等への掲載による意識啓発

### (2) 労務費の適切な転嫁のための「価格交渉に関する指針」やパンフレット等を活用した粘り強い価格交渉への取組による適正な警備料金の確保

ア 全警協の講師を招聘して経営者等研修会を開催し、警備業の将来に向けた経営基盤の強化等について講演

イ 適切な価格転嫁の実現や適正取引の推進等に関するリーフレットのほか、「警備料金の基礎知識」等の情報提供及び積極活用

### (3) 警備員の処遇改善やDX化等、雇用環境の整備による人材の確保

ア 鹿児島労働局担当者を招聘して経営者等研修会を開催し、警備業分野における人材確保等について講演

イ ハローワークと連携した合同会社説明会を開催し、人材確保への取組を強化

ウ 経営者等研修会において、自衛隊鹿児島協力本部担当者による警備業と自衛隊の人材確保等に係る連携の講話

## 2 警備員の資質向上のための教育の充実強化

### (1) 特別講習、警備員指導教育責任者等講習の受講奨励と適正な実施による裾野拡大

ア 警備員指導教育責任者等講習(公安委員会委託講習)の実施結果

| 種 別 | 実施日 | 受講者           | 合格者 | 合格率 | 備 考     |              |
|-----|-----|---------------|-----|-----|---------|--------------|
| 4 号 | 新規  | 7月 8日～ 7月12日  | 3名  | 2名  | 66.6 %  |              |
|     | 追加  | 7月11日～ 7月12日  | 3名  | 2名  | 66.6 %  |              |
| 機 械 | 取得  | 8月 5日～ 8月 7日  | 5名  | 4名  | 80.0 %  |              |
| 3 号 | 新規  | 8月26日～ 8月31日  | 3名  | 2名  | 66.6 %  | 台風の影響で29日は休講 |
|     | 追加  | 8月30日～ 8月31日  | 1名  | 1名  | 100.0 % |              |
| 2 号 | 新規  | 9月30日～10月 4日  | 19名 | 17名 | 89.4 %  |              |
|     | 追加  | 10月 3日～10月 4日 | 4名  | 4名  | 100.0 % |              |
| 1 号 | 新規  | 10月21日～10月26日 | 14名 | 13名 | 92.8 %  |              |
|     | 追加  | 10月24日～10月26日 | 8名  | 8名  | 100.0 % |              |

## イ 警備業務検定の事前講習・特別講習の実施結果

| 種別         | 事前講習   |     |     | 特別講習  |     |     |     |       |
|------------|--------|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-------|
|            | 実施日    | 受講者 |     | 実施日   | 受講者 |     | 合格者 | 合格率   |
| 交通誘導<br>2級 | 4月28日  | 新規  | 54名 | 5月11日 | 新規  | 51名 | 37名 | 72.5% |
|            | ～29日   | 再試  | 6名  | ～12日  | 再試  | 6名  | 2名  | 33.3% |
| 雑踏<br>2級   | 6月8日   | 新規  | 26名 | 6月22日 | 新規  | 25名 | 18名 | 72.0% |
|            | ～9日    | 再試  | 2名  | ～23日  | 再試  | 2名  | 1名  | 50.0% |
| 貴重品<br>2級  | 6月8日   | 新規  | 23名 | 6月22日 | 新規  | 22名 | 18名 | 81.8% |
|            | ～9日    | 再試  | 0名  | ～23日  | 再試  | 0名  | 0名  |       |
| 交通誘導<br>2級 | 8月31日  | 新規  | 37名 | 9月7日  | 新規  | 35名 | 17名 | 48.5% |
|            | 9月1日   | 再試  | 5名  | ～8日   | 再試  | 6名  | 4名  | 66.6% |
| 施設<br>2級   | 11月23日 | 新規  | 50名 | 12月7日 | 新規  | 50名 | 41名 | 82.0% |
|            | ～24日   | 再試  | 13名 | ～8日   | 再試  | 13名 | 12名 | 92.3% |

### (2) 講師や教育担当者等に対する教育技法・能力の向上を図る研修会等の開催

- ア 全警協主催の現任講師研修会への参加で共通認識をもった指導技法等の確認
- イ 事前学習の計画表や模擬試験問題を作成し、講習と連動させた自主学習の推進
- ウ 特別講習のデジタル化に向けた担当者研修会への参加及び講師研修会の開催

### (3) 講習のデジタル化を見据えた「全警協eラーニング」受講による教育の充実

- ア 新任・現任教育、2級検定学科用の各コース受講を推奨し、自主学習の効率化
- イ 合格率アップ及び講習のデジタル化に向け、機関誌や通知文等で受講を推奨

### (4) 検定等合格率アップに向けた「送り出し教養」と受講者の「自主学習」の徹底

- ア 検定合格者の声や自主学習アンケート結果を機関誌に掲載し、自主学習を推奨
- イ 警備員教育・講習用資機材、DVD等の貸出しによる「送り出し教養」の充実

## 3 適正な労働環境の維持と労働災害防止対策の推進

### (1) 労災事故防止等に配慮した安心して働きやすい適正な労働・職場環境の改善

- ア 経営者等研修会において、保険会社担当者による賠償責任保険制度の説明
- イ 労災事故の防止に向け、機関誌等に管理上の問題点や防止のポイント等を掲載

### (2) 働き方改革や労働安全衛生に係る関連法令遵守のための意識改革

- ア 重大労災事故速報の発出、機関誌等への労災防止記事の掲載による意識啓発
- イ 全警協・労働局等関係機関から発出される熱中症対策など各種情報の提供
- ウ 「受傷事故防止対策マニュアル」「高齢者の活躍に向けたガイドライン」等の活用による指導教養の実施

エ 労働安全衛生・労働災害防止に関する作品の募集による安全意識の醸成

オ 「セーフティ・チャレンジ交通安全コンテスト」への参加で通勤災害等の防止

### (3) 警備員の士気高揚のための優良警備員や功労者等への表彰の充実

- ア 警備業功労者の警察本部長表彰及び永年勤続優良警備員、労災防止論文・標語等の応募優秀者への表彰のほか、優良警備員表彰者の声を機関誌に掲載
- イ 警察本部長感謝状、全警協会長表彰（役員功労、講師功労）等の上申

## 4 事務処理の合理化等に向けたデジタル化の推進

- (1) 業務の効率化と生産性向上に向けたOA機器等活用によるデジタル化の推進
  - ア 文書類のメール送受信化とリマインドによる期限内回答の励行
  - イ WEB調査の導入による業務効率化及びデジタル化の推進
- (2) 警備員の教養効果を高めるためのeラーニング教養の推進と教育業務の効率化
  - ア 新任・現任の法定教育活用による教育責任者、受講者の相互業務の効率化
- (3) 協会ホームページの活用によるペーパーレス化
  - ア 協会ホームページの更新による情報提供とPR
  - イ 政府等発行文書等の協会ホームページ「会員ページ」への掲載

## 5 警備業の認知度を高める広報・啓発活動の推進

- (1) 青年部会等活動の活性化による「警備の日」キャンペーン等各種広報活動の強化
  - ア 「地域安全運動」出発式への参加及び「警備の日」の街頭キャンペーンの実施
  - イ 県、鹿児島市及びさつま町主催の総合防災訓練に参加し、社会生活に不可欠な警備業の存在感をPR
  - ウ 「警備の日」に併せたインスタグラムの更新等による若者対策の推進
- (2) ホームページや広報誌、ミニ広報紙等を活用した効果的な広報活動の推進
  - ア 機関誌「SECURITY KAGOSIMA」及びミニ広報紙「熱風」の発行による情報提供
- (3) ハローワークの就職説明会等による募集活動の支援
  - ア 人材確保対策としてハローワークとの合同就職説明会の開催
  - イ 労働局主催の人材確保対策推進協議会に参加し、警備業への求人支援を要請

## 6 安全安心や災害等支援による地域社会への貢献

- (1) 地域安全・交通安全・防災等に係る各種運動や地域活動等への積極的参加
  - ア 青年部会等を中心に「全国地域安全運動」出発式に参加
  - イ 「安全・安心なまちづくり」県民大会、キャンペーン等への参加
  - ウ 「警備業防犯協力会」が警察署と連携した研修会や防犯活動を実施
  - エ 防犯、暴追、犯罪被害者支援、交通安全等団体への賛助金の拠出及び支援
- (2) 子ども見守り活動や交通安全・防犯パトロール等の推進
  - ア 通学路の交通安全・防犯パトロール等による「ながら見守り活動」を推進
  - イ 中学生等を対象とした職場体験の受け入れと防犯・防災等の安全指導
- (3) 災害支援協定等に基づく訓練等への積極的参加と「鹿警協支援隊」態勢の強化
  - ア 鹿児島市と「災害時における警備業務に関する協力協定」の締結
  - イ 災害支援協定等に基づく県、鹿児島市主催の総合防災訓練への参加と「鹿警協支援隊」の編成替えに伴う態勢の強化
  - ウ 家畜伝染病防疫活動協力協定に基づく会議、演習等への参加と関連情報の共有
- (4) 「SDGs推進パートナー」への登録など持続可能な社会実現への貢献
  - ア SDGs推進パートナーシップ推進フォーラム等で業界の社会貢献をPR
  - イ 会員会社における社会貢献活動の実態について調査を実施
  - ウ 会員会社及び協会による事務所周辺等での早朝清掃作業等を実施